

富良野市教育委員会だより

ZEROふらの

発行：富良野市教育委員会
住所：富良野市若松町5番10号
電話：0167-39-2320
FAX：0167-23-3528
Email：kyouiku-ka@city.furano.hokaido.jp

教育委員の紹介

歴代教育委員初の4期目

任期:令和2年6月18日~令和6年6月17日



津山正樹 委員

2人の息子達が小中学校に通っている頃ですから、12年も前という事になります。平成20年1月、前・宇佐見教育長が私の会社の事務所に突然現れ、「我が子の為だけじゃなく、富良野すべての子供たちのために、富良野初の『保護者枠』の教育委員をお願いしたい。」との突然の御言葉に、ただただ驚き「私はそんな器ではありません。」とお断りをした記憶があります。ゆっくり検討してください、とその場は帰られましたが、その直後から、息子達の学校の校長、教頭、同級生で市P連亀淵会長等々から「まさか断ったりしないだろうね？」という意味の(脅迫?)電話が相次ぎ、さんざん悩まされた挙句、前・宇佐見教育長の「すべては富良野の子供たちの為に」という言葉に共鳴する事に致しました。それでも、新春の市P連主催の教育懇話会の直後のお誘いですから、多少時間がありました。議会で承認され、正式に委嘱されるまでの間「身辺整理をするように」と云われましたが、実は密かに「議会で誰かが反対してくれないかな?」とか「他に優秀な人材が現れたので、この話しは無かったことに…」なんて事を、頭の片隅で念じたものでした。自分にとっては、まさに「身の丈以上の重責」と感じていたからです。

初めての委員会の前日は緊張のあまり、よく眠れませんでした。委員会って、一体どんな雰囲気なのだろう。事前に渡された「定例会議案書」や「教育委員手帳」を、何度も読み返しました。

初日は、早朝から市長室に行き、前・宇佐見教育長以下関係首脳陣に見守られながら、前・能登市長から委嘱状が手渡され、激励の御言葉を受けました。そのまま教育長に図書館3Fの委員会室へと案内され、そこには当時の児島委員長、篠田職務代理、吉田委員(次期委員長)、他待ち構えていた当時のスタッフと初対面。その後、有無も云えずに学校訪問、協議会、委員会、夜の歓送迎会へと流れました。永い教育委員生活の始まりでしたが、私は図々しくも、一瞬にして教育委員会の雰囲気に馴染んでいたように思います。

当時の委員会は、現在（いま）以上に、研修や視察に出る事が多く、充て職も多く来賓として出る事や緊急委員会なども多かったため、本当に忙しい職務だと感じながらも「保護者枠」の委員として、委員会とPTA間のパイプ役、風通しを良くする事が自分の使命と信じ、何よりも教育委員活動を優先し、富良野市の教育に関する情報の収集と発信を意識してきたつもりです。当時は、いじめによる自殺の問題、全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力・運動習慣等調査、学力向上、建物耐震化の調査に伴う施設の建て替えや改修、また、適正規模・適正配置の問題、等々が時代の教育課題でしたが、富良野市教育委員会は、どれも先端を走っていたように感じていました。

「自分は教育課題の解決に向けて、何ができるだろうか？」自問自答しながらの1期4年が過ぎ、2期、3期と気づいたら12年も過ぎてしまいました。この間、我が子達の卒業と自立とともに、私の保護者枠も優秀な後釜委員へと代わり、任期と共に御世話になった先輩委員、委員長達が退任され、宇佐見・前教育長から近内教育長へ、能登・前市長から北市長へと行政の組織も代わり、教育委員会制度の改正、教職員の働き方改革、幼小中高の連携、学習指導要領の改訂等々、教育課題も時代と共に、新たな段階へと、動き出したように感じていました。

しかしながら、平成から令和へと元号が代わり、2020年東京オリンピックが行なわれるはずだった令和2年、ご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の世界規模での感染拡大により、これまでの常識の枠を超え、先行き不透明で予測困難な時代となってしまいました。Withコロナ、Afterコロナの時代と云われ、世界中で新しい生活様式への変化が求められ、教育現場においてもこれまでとは違う、新たな学びの場への対応が求められる時代となりました。

そんな先行き不透明な時代ですが、本年、3期目の任期を向かえ、6月から4期目の委嘱を受ける事となりました。

「富良野のすべての子供たちの為に～私達、教育委員に求められていることは何か～」

こんな時代だからこそ、今一度、基本に戻り、原点を見つめなおし、教育委員の役割を再確認し、教育委員として、何が必要なのかを考える機会と捉えております。

「初心忘れるべからず」

12年前の初めての委員会の前日の眠れぬ夜。緊張して「教育委員手帳」を何度も読み返した夜を忘れてはいけません。大切な富良野の子供たちの為に。

任期満了まで、精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

教育長通信 ～学校・地域・保護者と連携した教育活動～

今年度の市内小中学校における教育活動のうち1学期に予定していた修学旅行や運動会などは、新型コロナウイルス感染症対策により2学期まで延期し、「学校の新しい生活様式」を基本に安全対策を取りながら実施しています。学校は、子どもたちが協働的な学び合いの中で行われる特質があり、特に修学旅行や運動会などの行事は、教科の学習による知識・技能だけでは得られない経験をすることにより、社会性や協調性、自己肯定感などを養い、予測が不可能と言われる変化の激しい未来を生き抜く基本的な態度を身に付ける大切な機会であり、従って、新型コロナウイルスの特性や予防対策、治療方法は、世界中の医療関係者の研究により徐々に明らかになってきていることから、ウイズ・コロナの言葉通り、適切な対応を行い創意工夫しながら必要な教育活動を確実に進めていくことが重要であると考えております。

今、教育現場で一番の課題は、社会全体が自粛ムードの中で様々な活動が制約され多くの人々がストレスを抱え、感染者に対するいわれなき誹謗中傷や差別、SNSにおける自分と異なる考えや行動をする人たちへの容赦のない攻撃が発生しており、不寛容の時代と言われる状況を加速していることが、子どもたちが安心できる居場所であるべき家庭や地域社会の環境を厳しくしている状況と併せて、学校の長期休業や夏休みの短縮、学校における感染症予防のもとでの子ども同士の遊びや教育活動の制約など、これまでと異なる学校の教育環境の中で子どもたちは大きなストレスを抱えており、このことがいじめや不登校などを誘発させる要因のひとつとなっていることだと思えます。

その様な中、本市においては最近、中学生が主体的に新型コロナウイルス感染症に関わるいじめや差別・偏見をなくし人権を守る取り組みを始めたことは、これまで全市的に取り組んできた「富良野市 ZERO 運動」の成果であり、子どもたちが心豊かに成長している証でもあります。そして、このことが、将来のより良い社会づくりや幸福な人生の創り手となるために必要な力の源であり、教育委員会は学校・保護者・地域と連携をしながら思いやりを育む教育活動を進めていきたいと考えております。

教育委員会会議録（令和2年7月～令和2年9月）議題一覧より抜粋

- 7月15日（水） ○報告議案第1号 令和2年度富良野市一般会計予算の補正報告（専決処分）について
- 8月20日（木） ○議案第1号 富良野市学童保育センター設置条例の一部改正について
○議案第2号 令和3年度から使用する教科用図書の採択について
- 9月28日（月） ○議案第2号 富良野市立小中学校通学規則の一部改正について
○議案第3号 富良野市特認校制度取扱要領の制定について

定例会は傍聴もできますので、教育委員会に事前にご連絡ください